統計アラカルト

能本の統計情報 平成29年9月22日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

「在庫循環図」って知ってます??

~ 景気はぐるぐる回る!? (@@)~

国 在庫循環図(在庫ぐるぐる図) 10 景気後退在庫積み上がり局面 景気後退 景気停滞 景気拡張 27 II 🛊 在庫調整局 27Ⅲ 28 I し局面 −1 −2 28Ⅲ -3 29 I 景気停滞 終期 -5 景気拡張 初期 景気回復 意図せざる在庫減局面 -10 -10 -9 -8 -7 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 1 2 3 4 生産前年同期比

「在庫循環図」

横軸:生産の前年比

軸の右に行くほど、生産が前年より大きく増加。

縦軸:在庫の前年比

軸の上に行くほど、在庫が前年より大きく増加。

※1:鉱工業指数

鉱工業製品を生産する国内(県内)の事業所における生産、出荷、在庫の数量(金額)を指数化したもの。景気判断の指標の1つとしても利用されています。

I: 1 ~ 3月 II: 4 ~ 6月

Ⅲ: 7~9月 Ⅳ:10~12月

例:29 I ⇒ 平成29年 I 期 (1~3月)

- ◆「在庫循環図」とは、「鉱工業指数」(※1)という統計データを使って作る図で、少し乱暴に言えば「製造業の景気状態」を把握する景気分析・予測ツールの1つです。
- ◆「在庫循環図」において、理論上、景気は反時計回りに進んでいくので、「在庫循環図」を使うと 製造業の景気の動きが視覚的に分かりやすいという特徴があります。
- ◆それでは、実際に、国の在庫循環図を見てみましょう。
- ◆景気局面の分類方法はいくつかありますが、ここでは、上図のように分類したものを使うことにします。
- ◆理論どおり、反時計回りに景気が進んでいることが見て取れますね。
- ◆そういえば、余談になりますが、25年くらい前は、「在庫循環図」のことを「在庫ぐるぐる図」と言ったりしてました。「熊本県鉱工業生産・出荷・在庫指数 平成3年年報」(熊本県発行)という統計書にも「在庫ぐるぐる図」という名称で掲載(64ページ)されています。お堅いイメージの"統計書"にしては、ちょっとクスっと笑ってしまうようなネーミングですね。
- ◆さて、本題に戻りましょう。平成28年 I 期 (1~3月) に「景気停滞 初期」局面にあった国の製造業の景気は、その後徐々に回復傾向を見せ、平成29年 I 期 (1~3月) には、「景気回復 終期」局面、それも、ほとんど「景気拡張 初期」局面に近いところに位置していることが分かり、理論上は、今後の景気拡大に期待が持てる状況にあります。(実際には、そうならないかもですが・・・。)

県 在庫循環図(在庫ぐるぐる図) (%) 40 在庫積み上がり局面 35 30 景気停滞 25 景気拡張 27 II 🏓 20 15 10 前年同期末比 5 27**IV** -5 28**IV** -10 28 I 28Π -15 -20 景気拡張 景気停滞 -25 -30 景気回復 景気回復 -35 意図せざる在庫減局面 -40 -35 -30 -25 -20 -15 -10 -5 0 生産前年同期比

I: 1 ~ 3月 II: 4 ~ 6月

Ⅲ: 7 ~ 9月 Ⅳ:10 ~12月



例:29 I ⇒ 平成29年 I 期(1~3月)

「29Ⅱ」はどこに来るのでしょうか? 是非、自分で座標を追加してみてください!





◆では、次に、本県の「在庫循環図」を見てみましょう。

- ◆国とは違って、きれいな反時計回りにはなってません。よく「経済(景気)は生き物」と言われますが、「在庫循環図」も理論どおり(反時計回り)にならないことも当然あり、それもご愛嬌ってところでしょうか。
- ◆ただ、平成27年IV期(10~12月)以降は、反時計回りに本県製造業の景気局面が進んでいることが分かります。
- ◆さて、平成28年 I 期 (1~3月) に「景気回復 初期」局面にあった本県製造業の景気は、<u>"熊本地震"のあった平成28年 II 期 (4~6月) に一時失速したものの、その後は急速に回復傾向を見せ、</u>平成28年 II 期 (7~9月) にはついに「景気拡張 初期」局面に入りました。
- ◆平成29年 I 期 (1~3月) には、「景気拡張 終期」局面に位置していますが、<u>このまま「景気拡張 終期」局面に踏み止まるのか、それとも、次の景気局面である「景気後退 初期」局面に移っ</u>てしまうのか、今後の動きが気になるところです。
- ◆興味のある方は、<u>平成29年9月下旬に公表予定の「鉱工業指数 四半期速報(平成29年Ⅱ期(4~6月))」をご覧いただき</u>(←と、さりげなく宣伝)、<u>この「在庫循環図」に"29Ⅱ"の座標を落と</u>し込んで、ちょっとだけエコノミストになった気分で、プチ経済分析を楽しんでください!

【補足】

今回の分析はあくまでも一例であり、「この分析結果は統計データに基づくものなので、絶対 に正しいのだ!」などと主張する意図はもちろんありません。

<u>今回お伝えしたかったのは、「統計データを使うと、こんな分析もできるよ!統計データって</u> **■** おもしろいんだよ!」ということであり、少しでも"統計"に興味を持っていただければ幸いです。 みなさん、是非、いろんな統計データを自分で料理(分析)して、楽しんでみてください!

熊本県の統計情報は

「http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c id=3&class set id=1&class id=1297 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、10月中旬に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1 電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp